
東アジア文化交渉学会

第17回国際学術大会のお知らせ

東アジアは漢字文化のフィールドとして、共通の典籍と用語を有している一方、域内の各国はまた異なる歴史発展の軌跡を辿ってきている。近代以降の西学東漸においては、知識の移動と融合が複雑で多様な様相を呈しており、地域研究の絶好の対象である。これを踏まえ、2025年の第17回東アジア文化交渉学大会では、「地域研究の視野における東アジア文化交渉」をテーマに、以下の分科会を設置し、学術交流を行うことを提案する。会員の皆様の奮ってのご参加を心よりお待ちしております。

大会テーマ: 地域研究の視野における東アジア文化交渉

分科会のテーマ:

1. 地域研究と東アジア文化交渉
2. 東アジアにおける近代知識形成史の研究
3. 東西の宗教と東アジア文化交渉
4. 近代留学生集団の研究
5. デジタル・ヒューマニティと東アジア文化交渉の研究
6. 文・史・哲など近代の知識移転と東アジア文化交渉
7. 東西・東西言語接触、翻訳と訳語の研究
8. 東アジア海域における人的・文化的交流と文化伝達に関する研究
9. 魯迅と東アジア文化交渉
10. その他の東アジア文化交渉に関する研究

2025年第17回東アジア文化交渉学大会の主催校である浙江工商大学は、学科の種類がそろった総合大学であり、本大会の実務を担当する東方研究院は、設立してから30数年経ち、「浙江省に立脚し、東アジアに目を向け、世界に発信する」という趣旨を堅持し、「文化の伝播を中心に、歴史的な脈絡を整理することを方法としており、東アジアを全方位に、深く研究する」ことをモットーに、中日の文化交流と比較という伝統のある研究を強化すると同時に、東アジアの政治、経済、文化等の諸分野の研究を全面的に展開させている。また中日漢籍交流史論、近代日本編中国海洋図志文献の整理と研究、東アジア筆談文献の整理と研究、晚清浙江文人と中日文化交流、近代浙江留日学生と中日文化交流など、広範囲にわたり渡って研鑽を重ねている。近年、地域研究の開拓にも力を入れてい

る。

大会日程:

2025年5月10日(土)—11日(日)

会場:

浙江工商大学下沙キャンパス(杭州市钱塘新区下沙高教园区学正街18号)

大会形式:

浙江工商大学下沙キャンパスにて基調講演、各分科会及び個人発表等を行う予定。分科会は必要に応じて、ハイブリッド形式を採用することもある。

申請手続:

SCIEA会員とその他の発表予定者(非会員の方は事前に入会手続きを行ってください)は、以上の大会テーマまたは分科会テーマを参考に、**2025年1月15日**までに参加申請書と発表概要(400字程度)を大会準備委員会に送って下さい。大会準備委員会は申請書を審査し、審査結果に基づいて正式な招待状を送ります。

会費:

未定

大会準備委員会連絡先:dyyjy@mail.zjgsu.edu.cn (cc: sciea2025@outlook.com)

東アジア文化交渉学会第17回大会準備委員会

主 任:江 静	(会長、浙江工商大学東亜研究院教授)
副主任:藤田高夫	(副会長、関西大学文学部教授)
内田慶市	(副会長、関西大学名誉教授)
姚 瓊	(浙江工商大学 東亜研究院副教授)
徐 磊	(浙江工商大学 東亜研究院副教授)
木村昌人	(評議員;元渋沢栄一記念財団研究主幹)

事務局

沈 国威	(事務局長、浙江工商大学 東亜研究院特別教授)
謝 詠	(浙江工商大学 東亜研究院事務室主任)